

あすなろ

東京都港区三田3-2-20 TEL 03-3455-6006
http://oak47.hp.infoseek.co.jp/

OAK



日本の企業は史上最高の利益をあげて、景気も回復してきているといわれますが、私たちの生活にその実感はありません。労働者間の格差も拡大し、そのうえ、増税や社会保険料の値上げ、年金の改悪など生活不安が広がっています。今年の春闘と国政選挙で安心して生きられる国に変えていきましょう。

今年もよろしくお願いします

貧困と格差の
是正の年に

2007
年

力をあわせて 希望の年に！

今年の干支は 亥 (い)

日本では「猪突猛進」の野性的な勢いをもつ猪 (いのしし) 年ですが、十二支発祥の地の中国、さらにベトナム、韓国などでは「ブタ年」です。猪が家畜化してブタになったという親戚同士で、ブタは中国では「富」を象徴する動物とされています。今年の「ブタ年」は600年に1度の『黄金のブタ年』で、金運や財産に恵まれると言われていますが、民俗学などの学者らは「初耳」「今までの文献の中にはない」という反応。それでも、日本以上に出生率の低下している韓国ではベビーブームも期待されているようです。

どんど焼き

1月15日前後(小正月)

平安時代に行われていた宮中行事が起源といわれ、正月飾りや古いお札、書き初めなどを燃やし吉凶を占ったり魔除けなどさまざまな目的で行われる火祭です。その火で団子や餅を焼いて食べ、無病息災を願うなど地方によって内容や呼び方も多彩。

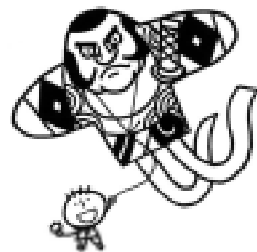
(おんべ焼き、とんど焼き、さいと焼き、など)



年男・年女

1,063万人

総人口(1億2773万人)に占める亥年生まれの割合は8.3%で十二支のなかで9番目。女性は546万人、男性517万人。年代別では今年60歳を迎える1947年生まれが一番多く225万人。年金支給の先送りや「2007年問題」といわれるほど今年の定年が社会問題になっていますが、2006年4月施行の「高齢者雇用安定法」により、定年後も働き続けられる制度ができました。



若者も
中高年も

夢の持てる
社会に！

07春闘で生存権を守る大運動に！

賃金の底上げが必要
昨年の春闘の賃上げは全産業で六一九四円と言われているが、沖電気では30歳の技術労働者で五百円(ベースアップ)でした。
今年一月に所得税、六月には地方税の定率減税が全廃され、年収五百万円の人で月額千五百円の負担増になります。財界は技術系労働者(ホワイトカラー)の残業代を払わなくても良い、とすゼンブションなどの労働法改正の改悪をねらっています。
一月下旬から春闘の職場討議が始まります。職場の声を出し合い、生活破壊を食い止める春闘にしましょう。

各団体の要求

連合 1%以上の成果配分 労働時間1800時間の実現
企業内最低賃金を時給で850円以上
電機連合 月額2000円以上
職種別要求方式に変更
全労連・春闘共闘 誰でも1万円以上
最低賃金を時給1000円以上 月額15万円以上
金属労協 35歳最低賃金21万円 労働時間の短縮

八王子のU1棟をいつたん収束
労働者(約70名)はどうなるの？

U1棟は九四年に当時DRAM(読み書きが自由にできる大型メモリ)を主体に移転を開始しましたが、その後、経営判断によるDRAMからの撤退、デバイス開発を中心として今日まで稼働してきました。
しかし会社は「稼働必要コストが年間数十億要する」として今年三月迄にU1棟をいつたん収束すると発表しました。装置も含め宮城沖、宮崎沖に移管し、関わっていた労働者については「八王子地区内の半導体関連職場またはグループ企業への再配置を考えている」としています。ATP(ウエハープロセス以降のIC製造工程)の移管やHOYA社へのマスク部門の売却、逆に日本テキサス・インスツルメンツの液晶ドライバの買収などその都度、労働者は負担を強いられ続けてきました。今回も退職する労働者がでてきます。
経営施策の責任が問われますが、労働者に犠牲を強いることのないよう労使の対応が必要です。



新春の思い
今年は「亥年」。
猪突猛進(ちょとつもうしん)といいますが、「海外で戦争をする道をまっしぐらに進む国にはしたくありません。昨年は防衛庁の「庁」から「省」への昇格、憲法改悪への前しよう戦といわれていた教育基本法の改定などが行われ、なにやらきな臭くなってきた年でした▼民主主義とは多くの人が望むことの実現、多数決だということです。しかし、現実には多くの人々が望んでいない海外で戦争をする国への道が開かれています。絶対的に国会で多数を占めている自公与党が、戦争への道を選択しようとしているからです▼寄せ集めの政党、民主党にも戦争への道を望んでいる議員がいます。今年は一斉地方選挙、参議院選挙が実施されます。何もかわらないと言って選挙を棄権しないで、平和を守り、海外に「軍隊である自衛隊」を派遣しないことを公約にしている議員を多く当選させようではありませんか▼

「初詣・初日の出」で願うことは昨年一年を無事で過ごせたことのお礼、今年一年の家族の安全です。アメリカに協力して外国で戦争をすることなど願ってはいません。
(北)

○六年十一月に「沖電気の職場を明るくする会」も加わった実行委員会により開催。参加者は満席の八十五人でした。

雇用・年金・命とあすへの希望を求めて 「高齢者雇用安定法」をかんがえるシンポジウム

元・ハローワーク所長、埼玉労働委員会の委員、弁護士をパネラーに「選別雇用はみとめられない」を学ぶ（埼玉・本庄）



沖・職場の参加者は「沖電気の労使協定は、職務グレード（階級）による選別条項があるので改善が必要」と感想を述べていました。

パネラーは「企業がつける就業規則をみとめるなど抜け道がある」「恣意（しい）的な排除は改めさせることが重要」「高齢化社会での労働条件の抑制が狙い」「老後を安心して過ごせる社会保障制度が必要」などと、語りました。

派遣労働者の賃金が下がっても 関係ないと思っていれば

沖電気の本庄工場（現・生産サービスセンター）の派遣労働者の人数は、現在約二百人です。従業員比率の約三〇％になります。

一〇年前は千二百人を超えていた従業員は現在四百八十五人（〇六年三月・有価証券報告書）。リストラや分社化で激減してしまいました。代わって増加したのが派遣労働者です。世の中、失業者の増加で派遣会社は急増しました。そして、派

○二年十二月に沖電気の沖中島・九州支社副社長や有永・ネットワークカンパニー公共システムマネージャー（防災無線の統括責任者）などが、当時の吉村町長に三百萬円の賄賂を渡し、東芝、富士通、日本電気などを退ける談合（競争入札妨害）を行い二億四千九百五十萬円で落札した事件。○四年には町長、中島、有永氏などに有罪の判決

沖電気へ四千四百九十萬円の返還請求命令

（〇六・一二・二二） 大分地裁

厚生年金の支給が六十五歳まで段階的に引き上げられた事に伴い企業に六十歳以上も雇用継続を義務づけたもの。二〇〇六年四月施行。企業は定年を引き上げる。継続雇用制度の導入。定年制度の廃止のいずれかの措置が必要。年金支給までの安定した雇用確保。希望者全員の雇用。が法の趣旨ですが選別雇用や労働条件の引き下げなどの趣旨違反の企業が相次いでいます。

高齢者雇用安定法

成果主義賃金制度の工場労働者の評価は低い

遣会社間の競争激化にともない値引き合戦に、派遣労働者も巻き込まれ、一〇年前は平均千三百円の時給が、平均千五百円までダウンしてしまいました。

現在、本庄地区には、約二〇社が、労働者を派遣しています。最近ではセイデン社の時給が千円となっています。これでは、働いても生活保護基準以下の生活しかできません。

俺（正規社員）の賃金も下げられた

生活を無視した賃金制度は、比較する相手が、中国の労働者の賃金であったり、派遣労働者であったりするように急変しました。勤続三五年を超えても月給が二五萬円の人も、これでは、生活はできず、派遣労働者から「沖電気の正規社員にはなりたくない」の声を聞きます。派遣も正規も「生活できる賃金」の実現が切望されます。

能率が上がったのに

まだ赤字？

【沖エアフォルク】

「能率が上がれば黒字にすることが出来る」との理由で、七月から多くのパート労働者を「雇止め」で解雇してきました。「一〇％能率が上がれば百万円の利益が見込まれる」とのかけ声の下、従業員は涙ぐましい努力をし能率は百十％に。ところが、先日の業績説明会では、それでも赤字！

理由は「原価率が悪い、もの流れが悪い」というもの。こんな会社の発表に、「原価率の低い仕事はしないはずだったのでは？」という声が出ています。また、「この会社は赤字になるのを、あれこれ理由をつけて避けているのではないか。会社のいうことは信用できない」との声も。

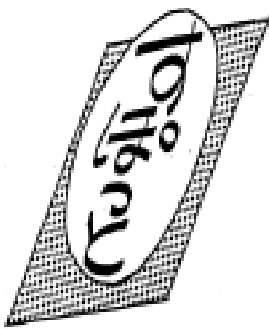
「組合があればな...」【群馬】年末、「分社化」によって転籍した知り合いと出会いました。「仕事の方はどうだ」と聞くと「毎日帰りが遅くて大変だ。立場上なかなか帰れなくて」と言います。サービス残業が当たり前で「このままでは過労死かな」と笑いがら話していました。「自己防衛で手帳がカレンダーに、仕事の内容を簡単にメモって退社時間を必ず書いて」と言うときまた笑いながら「それで内部告発か」との返事。そ

して「組合でもあれば多少は違うかもしれないよな」と。同じ場所でも同じ仕事をしていて、会社だけが変わる「分社化」によって未組織労働者が増え、賃金ダウン。労働組合の組織率が一八・二％にまで落ち込んでいる理由を実感しました。

ボーナスのため息

【東京】

ボーナスは「業績低迷により前期より数万円ダウン」とか。以前は平均二・五ヶ月は確保されていたのに、いよいよ二ヶ月にも届かず、しかも格差拡大で二ヶ月を下回る人



特別金支給される

「賃金も上げてよ」の声

【ジェイ・アイ・ピー・テクノ】

が大半に。さらに税金・保険料の控除額の大きい事！「最近のボーナスは夢も希望もないなあ」「出るだけまし、ボーナスなんかない人もいるんだから...支給額を見てため息が漏れるのも仕方ありません」

労働組合は派遣社員の労働条件改善も

【本庄】

昨年は大企業で偽装請負や非正社員の増加などが大きな

問題になりました。本庄工場にも派遣社員がたくさんいます。同じ職場で働く派遣社員でも、時給・年休・健康診断・残業割増・社会保障など会社によって働かされ方が違ってきます。

専門職で三年、製造部門で一年働けば、正規社員にしなければならぬという労働者派遣法があることも知られていません。同一労働・同一賃金の原則も派遣社員には通用しません。事実上の野放しになっています。

今、労働組合の役割が問われています。沖電気に働くすべての労働者の労働条件を調査し、労働条件を改善させることが組合員の労働条件向上につながると思っています。

○二年に沖電気本庄から分社化したJIEPテクノ。賃金は約三割ダウンし賃上げもありません。○六年年末の一時金は一・六ヶ月とプラス「皆さんの協力で今期の業績がよかったので」と、特別金（十萬円から二十萬円）が支給されました。

沖電気と同程度度の一時金総額に職場では笑顔が見られました。「三割もダウンしている賃金を上げて欲しい」「仕事海外に移転されるので、今後が心配」などの声も聞かれました。